

## 第二次滋賀県廃棄物処理計画の進捗状況(平成21年度実績値)

## 1. 一般廃棄物

- 平成21年度において、「総排出量」、「1人1日あたりの排出量」は既に目標を達成しましたが、「総資源化量」、「再生利用率」、「単純処理された量」、「最終処分量」は目標まで至っていません。(図表1～2)
- 「総資源化量」や「再生利用率」が目標に達しない原因については、総排出量が減少に転じ、資源化されるごみの量も減少したことが一因と考えられます。また、「単純処理された量」については、焼却施設の更新整備の調整に時間を要し、発電等熱利用施設を備えた施設の整備が遅れていることなどが原因として挙げられます。「最終処分量」については、「再生利用率」が横ばいの状況で、資源化が頭うちとなっていることなどが原因と考えられます。
- 生活排水を処理する下水道や浄化槽等の施設の整備率を表す「汚水処理施設整備率」は、目標値100%に対して97.8% (平成21年度末) となっており、引き続き「滋賀県汚水処理施設整備構想」により計画的に整備を行っていく必要があります。(図表3)

&lt;図表1 目標の達成状況&gt;

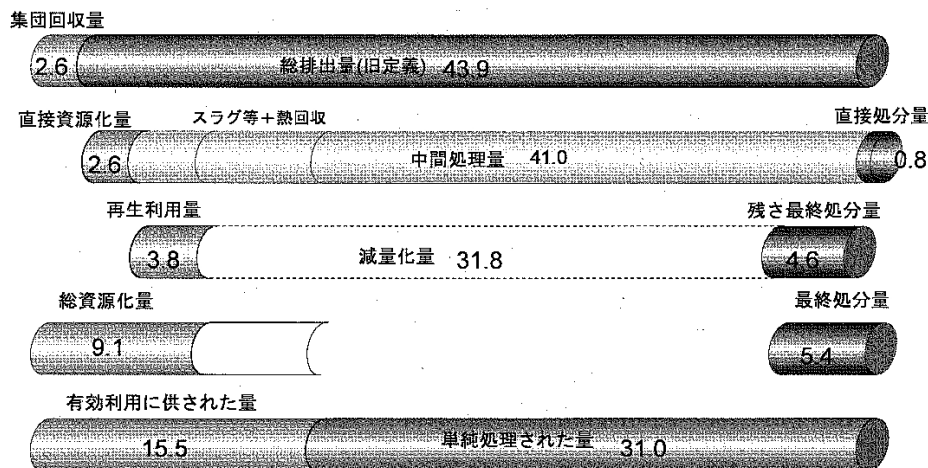
指 標	目 標 値 平成22 年度	実 績 値					進 捗 状 況	
		平成18 年度	平成19 年度	平成20 年度	平成21 年度	平成22 年度 速報値		
総排出量※1	万 t	47	47.6	46.5	44.6	43.9	( 42.8 )	達成
1人1日あたりのごみの排出量※1	g/人・日	900	948	922	880	866	(844 )	達成
総資源化量	万 t	12	9.7	9.8	9.4	9.1	( 8.7 )	未達成
再生利用率※2 (リサイクル率)	%	26	19.2	19.9	19.8	19.6	( 19.0 )	未達成
最終処分量	万 t	5	6.7	6.1	5.6	5.4	( 5.2 )	未達成
単純処理された量	万 t	21	36.7	32.4	31.6	31.0	( 31.1 )	未達成

※1 旧定義で設定；総排出量(旧定義) = 市町の計画収集量 + 市町への直接搬入量 + 自家処理量

1人1日あたりのごみの排出量 = 総排出量(旧定義) ÷ 人口 ÷ 年日数

※2 再生利用率 = 総資源化量 ÷ (ごみの総処理量 + 集団回収量) × 100%

&lt;図表2 指標の概念図&gt; (値は平成21年度値(万t))



＜図表3 生活排水処理に関する目標と進捗状況＞

	目標値(平成22年度)	実績値(平成21年度末)	進捗状況
汚水処理施設整備率(%)	100	97.8	未達成

2. 産業廃棄物

- 平成21年度において、「総排出量」、「発生量」、「最終処分量」は既に目標を達成しましたが、「再生利用量」、「再生利用率」、「資源化されない量」は目標まで至っておらず、達成は困難と推測されます。(図表4)
- 再生利用については、有効利用率\*で見ると90%にまで及んでおり、過去6年の有効利用率も横ばいで推移していることから、資源化は限界に近づきつつある状況と考えられます。(図表5～6)

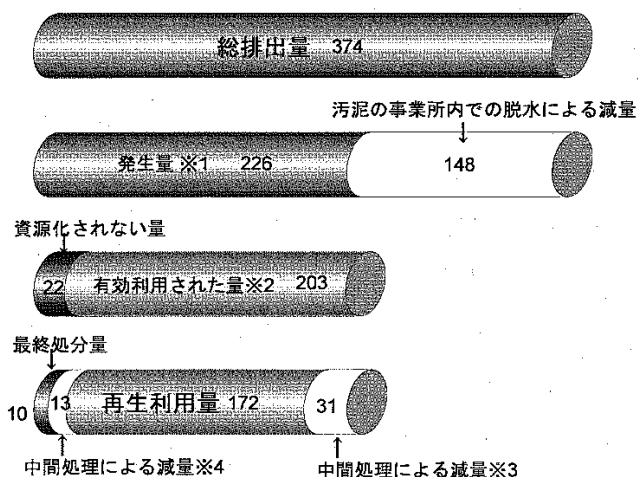
※ 有効利用率=有効利用された量 ÷ 発生量 × 100%

＜図表4 目標の達成状況＞

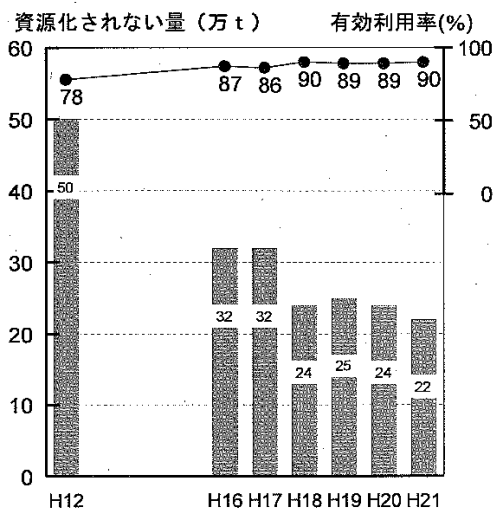
指標	単位	目標値	実績値				進捗状況
		平成22年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
総排出量	万t	403	403.8	404.3	389.1	373.5	達成
発生量	万t	233	235	234	226	226	達成
再生利用量	万t	200	184.0	184.9	179.1	171.9	未達成
再生利用率※	%	50	45.6	45.7	46.0	46.0	未達成
資源化されない量	万t	20	24	25	24	22	未達成
最終処分量	万t	13	10.3	10.3	11.2	9.6	達成

※ 再生利用率=再生利用量 ÷ 総排出量 × 100%

＜図表5 指標の概念図＞ (値は平成21年度値(万t))



＜図表6 資源化されない量の推移＞



- ※1 発生量 ; 総排出量のうち、汚泥については排出事業所内で脱水した後の量としたもの
- ※2 有効利用された量 ; 発生量のうち、再生利用するために仕向けられた量
- ※3 中間処理による減量 ; 再生利用のための処理に伴い減量した量
- ※4 中間処理による減量 ; 最終処分のための処理に伴い減量した量